

第2回全中国空手道選手権大会要項

- ◎名称 = 第2回全中国空手道選手権大会
- ◎主催 = 真正会松本道場広島本部(大会事務局)
- ◎主旨 = 青少年の健全育成と技術力、精神力の向上及び親睦
- ◎日時 = 平成30年4月15日(日) ●午前9時会場/午前10時開会式
- ◎場所 = 広島市中区基町4-1 広島県立総合体育館【武道場】
- ◎参加料=¥8000 参加申込書に参加料を添えて下さい。
- ◎申込先=〒732-0826 広島市南区松川町2-22-101 真正会松本道場広島本部宛(082)263-1705
- ◎締め切り=平成30年3月24日(土) **必着**
- ◎試合形式=個人戦トーナメント方式

- ※ジュニア幼年の部(小学生未満)
- ※ジュニア小学生1,2,3各低学年の部
- ※ジュニアBクラス小学生4,5,6各高学年の部 →茶帯・黒帯を除く、過去2年に於いて各種大会で入賞経験のない者。
- ※ジュニアAクラス小学生4,5,6各高学年の部 → 茶帯・黒帯及び、過去2年間に於いて他団体も含む大会(交流試合も含む)で入賞経験のある者。

- ※中学生の部 男子(50kg未満・50kg以上)
- ※マスターズBクラス(35歳以上の者。2級迄)
- ※マスターズAクラス(35歳以上の者。1級以上)
- ※一般女子クラス(16歳以上の女子。)
- ※一般スピリットカラテCクラス(3級迄で入賞経験のない者)
- ※一般スピリットカラテBクラス(2級迄)
- ※一般スピリットカラテAクラス(1級以上)

- (※注) 女子着用のTシャツは白・紺・黒色のみとする。
- (※注) 参加人数不足の場合、取り消す場合があります。その場合は参加料をお返し致します。
- (※注) ジュニアクラスに女子が参加する場合、年齢・キャリア等を考慮の上、参加クラスの変更する場合があります。

※参加選手注意事項※

- 1.参加申込資格は健康な方で、最低6ヶ月以上の経験があり、級位以上を有する者。**白帯での参加は不可。**
- 2.申込書は正しくご記入下さい。虚偽が判明した場合失格になる場合があります。組み合わせは過去の成績等に基づき上位選手を分散し、同門選手を出来る限り分散する。尚、ゼッケンは出場決定後、大会当日にお渡し致します。
- 3.清潔な空手衣を着用のこと。規定のゼッケンは背中中央につけること。ルール規約により、袖を短くした空手衣での出場は出来ません。(肘から上の部分を出さないこと)手足の爪は短く切して下さい。
- 4.大会当日は9時に集合しておくこと。その後、計量を行います。**体重別制クラス**に関しては当日計量時に規定体重より3kgまでのオーバーについては、試合時に常に減点1を受けて試合をして頂きます。規定体重を3kg以上オーバーしている選手は、失格とし試合をする事は出来ません。
- 5.事故発生の場合、主催者は患者を救急病院に搬送するまでとする。出場者は万一来場に備え、保険証を持参しておくこと。※参加者の皆様には傷害保険に加入して頂いております。但し、賠償責任に関しましては、保険の範囲内とし、その他保険以外については一切責任を負えません。
- 6.入場無料です。ご家族ご友人もお誘いの上、ご来場下さい。有料駐車場あります。
- 7.参加不能になった場合は必ず、大会事務局まで連絡すること。尚、参加人数不足以外については参加料の返却は致しません。

■試合方法

- グローブ、スネサポーター、ヘッドギア等の防具着用の上、足による顔面攻撃を認めた(手、肘による顔面攻撃は反則)直接打撃方式による試合

■判定方法

- 右記勝者判定基準を基に主審1名、副審2名で判定する。試合内容により、一本勝ち、判定勝ち、失格が決定される。最終延長戦は全クラス統一でマストシステムを採用します。

■審査規約

- 審判長及び審判員は同等の権限をもって試合の審査にあたるが、試合に関する最終決定は全て審判長の裁可による。大会進行は極力予定に添わせるが、止むを得ない事態が発生した場合は協議の上、審判長が変更を指示することが出来る。

一般男子35歳以上の者も本人の希望があれば、一般C(3級迄)B(2級迄)A(1級以上)に参加できる。同様に一般Cの対象者も一般Bに参加できる。

◆各クラス試合時間◆

幼年～中学生の部各クラス 本戦1分半→延長1分→再延長	マスターズ各クラス 本戦2分→延長1分
	一般A・B・C・女子クラス 本戦2分→延長2分→再延長1分

■勝者判定基準(一般クラス・マスターズ)

- 勝者の決定は①一本勝ち②判定勝ち
- ③相手の反則、又は失格により決定される。
- 一本勝ち=反則箇所を除き、突き・蹴りなどを決め3秒以上のダウン又はダウンせずとも戦意を喪失させ3秒以内に構えられない場合。3秒以内を「技有り」とし、技有り2つで一本勝ちとする。又、相手の攻撃によりバランスを崩し大きくぐらついた場合に技有りをとる事もある。

判定勝ち=①技有りの有無 ②技有りにはいたらないが正確な攻撃で手数をとるダメージ度の高いもの ③減点の有無 ④イニシアティブ(主導権)、或いはクリーンヒットの有無⑤技の優劣、勝利への気迫の順で判定基準とする。(注意:②イコール③イコール④とする)

①>②=③=④>⑤
(優) ← → (劣)

■勝者判定基準(ジュニア・中学生)

- ※上記クラスの場合、ダメージがなくても相手のノーガード部分に的確に上段への蹴りが決まった場合、ポイントをとります。
- ※ポイント2つで技有り ※ポイント3つで一本延長戦は、どちらかがポイントをとった時点で決着となる、サドンドスルールを採用します。どちらもポイントのない場合、最終延長戦はマストシステムを採用します。

■反則…以下の分類にて3種類に分けられる。

- A・危険行為 …注意2で減点1
- B・掴み等に関わる反則 …注意3で減点1
- C・その他の違反行為 …注意2で減点1
- A・危険行為…蹴り以外(一般Aクラス以外の上段膝蹴りは反則)の顔面及び喉への攻撃・金的・頭突き・倒れた相手への攻撃・背後からの攻撃等ダメージが残る危険性のある反則
 - ※ジュニアクラスのみ正面から下半身(関節・筋肉【大腿四頭筋】)への前蹴り・横蹴りは禁止する。(当然関節への蹴りは禁止とする。)
- B・掴み反則…両手での掴み・投げ技・掌底押し・頭をつけての打ち合いは禁止する。
- ※一般、マスターズ、女子クラスのみ片手での一瞬の掴みは認めるが、無意味なクリンチは禁止・他のクラスは掴みは禁止
- C・違反行為…場外へ逃げる(3回目注意1・4回目減点・5回目失格)無意味な技の掛け逃げ(3回目から注意)過度な反則アピール・審判員の指示に従わない場合や相手選手への中傷する言動(応援も)には選手に注意や減点を与える事がある。

■失格①試合中、審判員の指示に従わない時。

- ②出場時刻に遅れたり出場しない時。
 - ③見合ったままの常態で30秒以上経過した時。
 - ④粗暴な振る舞い、悪質な試合態度とみなされた時。
 - ⑤減点を2回重ねた時。
 - ⑥道位の袖の長さが規定に満たない場合。
 - ⑦反則攻撃で相手が試合続行不可能になった時。
 - ⑧減点1の後の危険行為の場合に限り、即減点2失格
 - ⑨各階級規定の体重をオーバーした時。
- ※選手の方が著しく優勢の場合や主審が必要であると判断した場合、試合終了を待たず、試合を止めて裁く事がある。

○・・・各自用意する防具

	スネ	ヒザ	ファールカップ	拳サポ	大会用グローブ	ヘッドガード	アゴガード	インナーチェスト	スポーツブラ
小学未満男子	○	○	任意	○		●		○	
小学生男子	○	○	○	○		●		○	
小学3年以下女子	○	○		○		●	任意	○	
小学4年以上女子	○	○		○		●	○	○	
中学男子	○	○	○		○	●		○	
女子クラス	○	○	○		○	●	○		○
マスターズ	○	○	○		○				
B・Cクラス	○	○	○		○				
Aクラス		○	○						

●・・・主催者の貸し出す防具

※注意事項

- ①スネサポーターは足甲部を覆う形状になっているもの。防具は硬質プラスチック、金属等の硬質素材でないものを使用すること。防具未着用の場合失格とする。
- ②ファールカップ、アンダーガードは空手衣の中に、スポーツブラはTシャツの中にインナーチェストはTシャツの外に着用すること。尚、ファールカップは加工してでも取り付けて下さい。
- ③テーピングは自由とするが、手首のみとする。鼻腔拡張テープの使用は禁止する。
- ④選手自身による不服申立は受理しない。団体責任者を代理人としての不服申立は、審議の対象とする。
- ⑤一般Bクラスのみベスト4から、グローブとスネサポーターを外し(ヒザサポーターは着用する)試合を行う。但し、頭部への膝蹴りは禁止のままとする。マスターズ・女子・一般Cはグローブ・スネサポーター着用